



りんご生育情報

(令和元年度 第3号)

令和元年6月14日 亶理農業改良普及センター(果樹担当 横田)

電話:0223-34-1141, ファックス:0223-34-1143

<生育状況>

仙台管区气象台から、6月7日に東北南部が梅雨入りしたとみられると発表され、これは平年より5日早い梅雨入りとなりました。また、6月13日発表の1か月予報によると、平年より曇りや雨の日が少なく、日照時間は平年並または多いと予報されています。

本年産のりんごの結実状況は、**概ね良好**です。すでに仕上げ摘果作業に入っていると思いますが、6月中に一通り摘果が済むよう、作業を進めてください。6月後半には来年の花芽形成が始まりますので、なるべく無駄な養分消費をなくすように努めましょう。

表1 りんご生育状況(6月10日果実肥大調査)

	縦径	横径
本年	36.4mm	34.7mm
平年	30.9mm	29.1mm
平年比	117.7%	119.3%

※ 調査地点:亶理町神宮寺 ふじ/マルバカイドウ 58年生

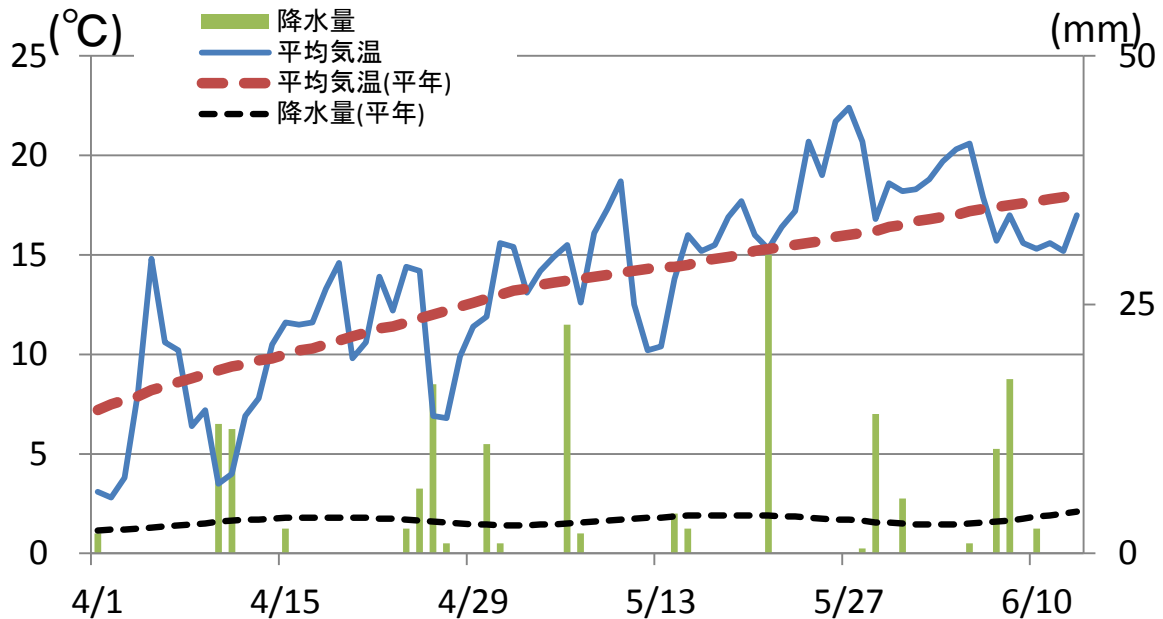


図1 気象データ(亶理アメダス, H31.4.1~R1.6.13)

<病害虫発生状況>

1. 病害虫防除所が発表した病害虫発生予察情報から抜粋
6月7日発行（今後1か月の発生予報）

斑点落葉病：発生量はやや多

キンモンホソガ：発生量は少，ハダニ類：発生量は少

モモシクイガ：発生量は平年並

<これからの栽培管理>

1. 病害虫防除

今年の梅雨入りは6月7日（東北南部の平年値6月12日頃）となりました。梅雨のため、連続降雨で薬剤防除計画が変更になることもありますが、防除間隔が開き過ぎないように注意してください。薬剤散布予定日近くで降雨予報の場合、なるべく**降雨前**に薬剤防除してください。

斑点落葉病に効果の高い殺菌剤の一つとして、**ロブラール水和剤・ロブラール500アクア**や**ユニックス顆粒水和剤47**が挙げられます（農薬登録状況2019年6月12日現在）。**ロブラール剤は抵抗性リスクが中～高**，**ユニックス剤は抵抗性リスクが中程度**（いずれもFRAC作用機構分類より）とされており、連用や多用によって耐性菌の発生が懸念される殺菌剤です。特に**ロブラール剤は、秋田県で斑点落葉病に対する耐性菌が確認**されています（1991年発表）。そのため、これらの剤は1年に1回の散布として、耐性菌が発生しないよう努めてください。